



# 校長室だより



早いもので来週からもう7月がはじまります。一学期も残すところ20日ほどとなりました。新学期が始まり、クラスが変わり、担任の先生が変わり、教室が変わりと大きな変化がありましたが、学校生活にも慣れてきたように見受けられます。中にはその環境の変化にうまく対応できない子どももいますが、個別にお話をしたり、別の環境を作ったりしています。

泣いても笑っても一学期はあと少しです。「しっかりがんばった」と子どもも大人も思えるように学校全体で授業やその他の行事に取り組んでいきます。ご家庭でも子どもががんばることができるように生活を整えてあげてほしいと思います。

## 授業を見合いっこして学んでいます

6月から相互授業参観といって、先生たちがお互いの授業を見合いっこして、授業の進め方、話し方などを学んでいます。それぞれの先生には個性があって、こだわりも違います。その違いを認めつつも、大切にしなければならないポイントなどを交流し合って授業力を高めています。

学校生活で大切にしたいことは「授業」です。子どもたちが「わかった」や「できた」、そして「チャレンジしようという気持ち」を育てられるような授業をめざして先生たちも日々、努力しています。

## ファミリーマートへの駐車に悩んでいます

6月には朝からの警報級の大雨が降った日が数日あり、保護者のみなさまにとっても、子どもたちにとっても悩ましい日となりました。学校の構造上、校内への乗り入れは基本的には禁止しており、さらに校門前の道路についてもご存知の通り、7:30~8:30までは通行禁止となっています。これらはもちろん子どもたちの安全を守るためのルールです。大雨が心配される中、子どもの安全のため学校近くまで送ってあげたいという気持ちもよくわかります。そこで、ファミリーマートなどの近隣の商業施設に迷惑をかけてしまうことになってしまっています。

大雨警報が出されるか心配された日にはファミリーマートの駐車場が大渋滞を起こしていたというのは、車で送ってきた保護者の方ならわかっただけだと思います。下足室前であいさつをしていた私にとってはいつもと違う門から登校してくる子どもの多さに胸が締め付けられる思いになりました。そして服がビチョビチョになりながら登校してくる子どももいて、「よくがんばって歩いてきたな」という別の意味で胸が締め付けられるような思いになりました。何か良い方法はないものかとここ数年、ずっと悩んでいます。やはり保護者のみなさんのご協力なしに、解決はできない問題だと思っています。

登校してくる子どもの中には長靴、カッパで完全防備をしている子どももいました。雨を楽しむというわけにはいきませんが、素敵な長靴、カッコいいカッパを着る機会ととらえて登校させてみるのも解決方法の一つかもしれないと、悩みながら考えています。